

特許実務家が実演する自律型AIエージェント活用術 ～知財実務における自律型AIエージェントの活用法と留意点～

**エージェント型AIに関心はあるものの、まだ実務での活用には至っていない方、
知財部門や特許事務所でのAI活用の進め方を検討されている方必見の内容!**

■開催日時

2026年 12月 9日[水]

時間14:00～16:30(途中休憩有り)

★オンデマンド視聴可能

申し込んでいただいた皆様には、セミナー終了後にセミナーを録画した動画（2週間閲覧可能）の閲覧用URLをお送りいたしますので、セミナー当日に都合がつかない方も受講可能です。

生成AIの活用は、チャット画面で質問して回答を受け取る段階から、AIが自らファイルを読み、書類を作成し、作業を完結させる「エージェント型AI」の段階へと急速に移行しつつあります。一方で、AIに実行まで任せることには、守秘情報の取扱い、意図しないファイルの変更・送信、外部文書に埋め込まれた不正な指示（プロンプトインジェクション）など、チャット型AIとは質の異なる

リスクが伴います。

本セミナーでは、エージェント型AIの基本的な仕組みと導入方法、実務者として押さえるべき留意点を概説します。そのうえで、公開されている欧州特許出願の書類を素材に、欧州移行用翻訳のチェック、欧州調査報告への応答案の作成、特許許可通知の照合、オンライン出願用ファイルの準備、庁通知の転送レターの作成といった具体的な業務を、実際の画面で実演しながら解説します。

エージェント型AIに関心はあるものの、まだ実務での活用には至っていない方、知財部門や特許事務所でのAI活用の進め方を検討されている方に特におすすめします。

是非多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

●講師:

Hasegawa弁理士事務所

ドイツ弁理士・欧州特許弁理士・欧州特許訴訟代理人・日本弁理士 **長谷川 寛 氏**

●会場: Zoomを使ったオンラインセミナー